

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ランプ		
○保護者評価実施期間	2025年11月15日 ～ 2025年12月9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年12月23日 ～ 2026年1月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児が増加傾向にあるなかで、芦屋市で唯一の重度心身障がい児対象の児童発達支援・放課後等デイサービスである。	神戸市や西宮市からもご利用いただける立地である。 送迎時間、片道約30分の範囲で、ご利用いただいている。	専門職による専門的な関りにより、質を上げていきたいと考えている。
2	作業療法士が常勤勤務、言語聴覚士がパート勤務で、リハビリを施術している。	個別シートを作成し、活用して、他職種へ周知し、個性を持った関りに取り組んでいる。 作業療法士、言語聴覚士から、看護師へ、OJTによる実際の関り方の指導をしている。	作業療法士、言語聴覚士のモニタリングへの積極的参加、他の関係機関との連携を強化し、ランプ内での看護師への指導をより充実して進めることで、質の高い関わり方に努めている。
3	送迎日時の調整など、保護者様に寄り添った柔軟な対応ができている。	保護者様から気軽にご相談いただけるような良好な関係だと感じている。	ご利用日時だけでなく、多岐に渡る相談にも寄り添えるように、社会資源やイベント等の情報収集、知識の習得に努めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	重心に関する専門的療育の改善、PTによるリハビリの機会が必要である。	専門職の採用を進める必要がある。	採用ページの改善やご紹介をいただけるような働きかけが必要である。重心の療育に関する勉強会や研修を探して、学ぶ機会の提供をしたい。
2	スムーズな福祉車両からの乗降が出来、アクセスはいいが、限られたスペースでのケア、療育の場となっている。	バギーや吸引器、呼吸器、注入物品と言ったご利用者様ご自身の荷物が多くあり、また点滴台やクッション、ベッド、座位保持椅子等、ランプの備品等、必要なものが多い。	5S活動による整理、整頓、清掃、清潔を心掛ける。 動線を確保する延長コードの配置、備品の置き場所、分別のよる分かりやすい配置等、工夫して、動きやすいスペースを確保する。
3	地域のイベントへの参加は出来ているが、地域の子どもの交流ができていない。	近隣の保育園や児童館との繋がりが弱い。感染症の流行で他者との関りに、慎重になる傾向がまだ残っている。	保育園等を訪問して、交流の機会を模索する。 自治会やこども会からの情報収集により、地域イベントへの積極的の参加を促したい。